

原価計算初級試験の開始について

平成30年2月
日本商工会議所

原価計算初級概要

対象者

- 経理・財務担当者
 - ＋製造・生産現場の担当者、研究職(理系人材)、営業職、事務職
- 商業高校生、商学・経営学を学ぶ大学生、ビジネスを学ぶ専門学校生
 - ＋工業高校生、理系の大学生
- 日商簿記2級取得に向けた学習者

出題内容

- 原価計算の基礎知識(原価の分類、計算の方法)
- 経営管理のための原価の計算と分析(CVP分析、利益管理)
- 利益を計算するための製品・サービス原価の集計(期間損益計算)

試験方式 ネット試験(随時施行)

試験時間 40分

合格基準 100点満点で70点以上

受験料 2,160円(税込)

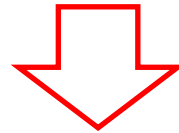
施行開始 平成30年4月

原価計算を学ぶと本当の儲けがわかる

販売スタッフ



製品を値下げして販売したら、たくさん売れるようになりました！



本当にそれでよいのでしょうか・・・？

- ・製造にかかった原価と同じくらいの値段で販売しているから、値ごろ感があり、多く売れているだけかもしれない。
- ・もしそうであれば、安易な値下げにより本来得られるはずの利益を得られていないことになる。

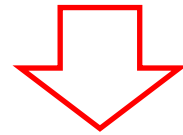
「原価計算」を学べば、それぞれの製品における収益と原価を計算し、どの製品がどれだけ儲かっているかを把握できる。

原価計算を学ぶと適確な事業計画が作れる

製造スタッフ



この製品は製造にかかった原価に2割増しの価格で販売します。作れば作るだけ利益が出ますね！



本当にそうでしょうか・・・？

- ・企業は、製造にかかった原価(変動費)のほか、本社の賃料や給料といった固定費も支払っている。
- ・固定費分も回収できるよう、販売しなければ、企業全体では損失が生じてしまう。

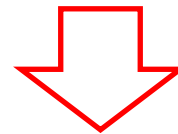
「原価計算」を学べば、製品をいくつ以上売ればいくら利益を得られるのか予測したうえで、事業計画を策定できる。

原価計算を学ぶと適切な経営判断に役立つ

管理部門スタッフ



計画より売上実績が下がってしまった。
まずは、より多くのお客さんを集められる方策
を立てなければ・・・。



本当にそれでよいのでしょうか・・・？

・客数の減少以上に、客単価の下落による
影響がより大きいかもしれない。
もしそうであれば、客数増加に向けた方策
よりも、客単価下落をくい止める方策の検討を
優先すべき。

「原価計算」を学べば、事業計画と実績とのかい離の要因を
分析・把握し、今後の対策を立てることができる。

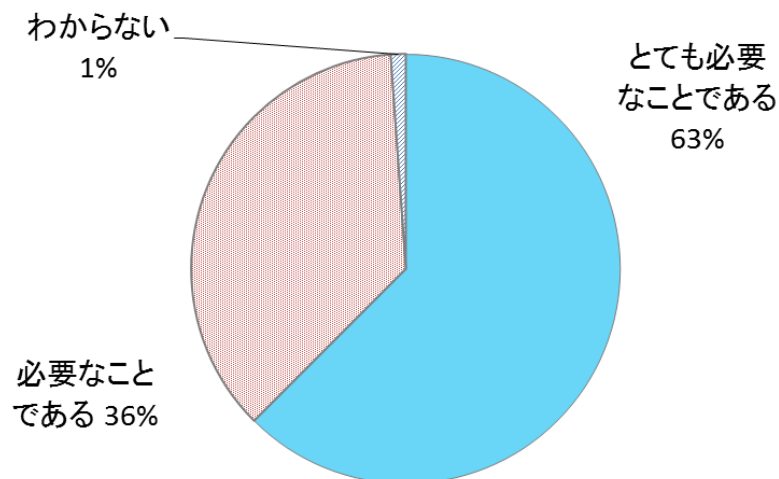
企業は原価計算の必要性を認識している

日商のアンケート調査では、ほぼ全ての企業が原価計算を学ぶことは必要と回答した一方で、原価計算を学ぶ研修等を実施する企業は3割に止まる。

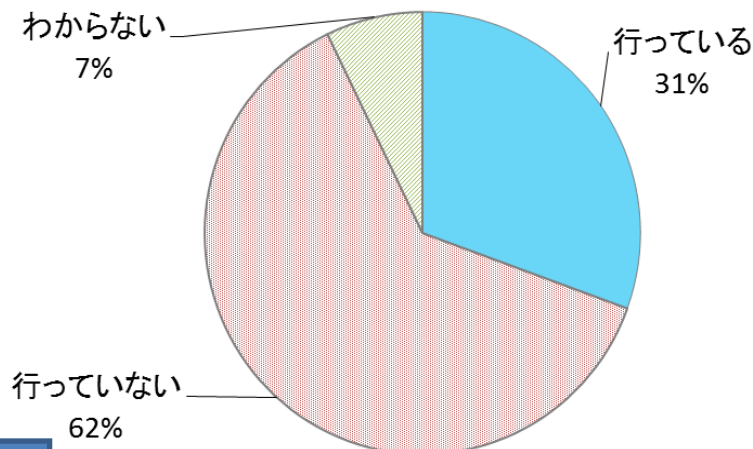
アンケート調査回答企業数：176社（平成29年5～8月）

※回答企業のうち、製造業は24社、流通・小売・卸売・サービス業64社、IT関連業28社、その他60社

企業人が原価計算を学ぶことについて、
どうお考えですか。



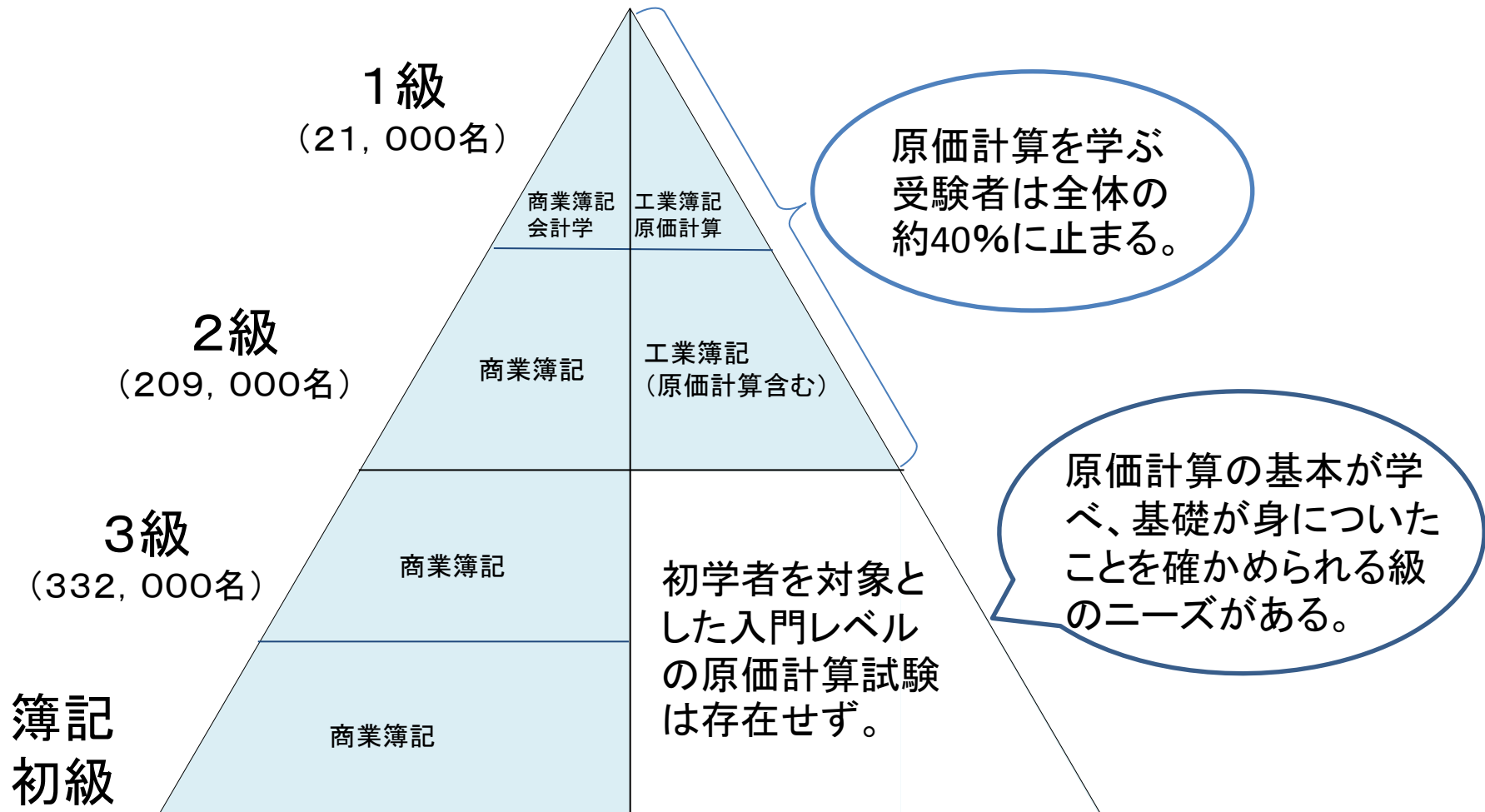
従業員へ原価計算に関する研修や
学習支援を行っていますか。



企業人材育成の観点から原価計算を身近に学べる機会・仕組みが求められている。

日商簿記検定試験の現在の体系

日商簿記の現在の体系では、原価計算は1級・2級試験でのみ出題されている。



※()内の数字は平成28年度の受験者数

新たな初学者向け原価計算試験の必要性

企業ニーズ

原価計算を短期間で学べる機会、学習支援の仕組み、学習コンテンツが欲しい。

教育機関ニーズ

初学者が原価計算の基本をしっかりと学べる学習コンテンツと目標となる資格が欲しい。

一方で、原価計算に関する知識・スキルを初学者レベルから体系的に学べる機会や学習支援の仕組み、学習コンテンツは限られている（現行の日商簿記においても2級からの試験範囲）。

原価計算初級の創設

企業、教育機関の人材育成ニーズに応え、広く社会人、学生等が**原価計算の基本**を身近に学べ、習得の証となる資格を取得できるよう、**日商簿記検定に初学者向けの新たな試験「原価計算初級」を創設**する。

原価計算初級の特長

1. 製造業のみならず幅広い業種をモデルとして原価計算を学習。
⇒業種・職種を問わず、企業実務に役立つ試験内容とする。
2. 簿記の学習を前提とせず原価計算の基本を学習。
⇒これまでの教育体系にはなかった、簿記の学習の有無を問わず原価計算の基本を学べるコンテンツを提供する。
3. ネット試験方式によりいつでも試験実施可能。
⇒企業研修や教育機関における授業・講義にあわせて、学習の成果(到達度)の確認を可能とする。



【ネット試験施行の様子】